



## 世代間交流 旭町駅前サロンプロジェクト

多摩大学経営情報学部 梅澤ホームゼミナール  
世代間交流 旭町駅前サロンプロジェクト  
プロジェクトメンバー

一 拓也(3年) 伊藤竜也 清水健太 前田将太郎  
安池 輝 吉江峻平(2年)

### 【目的・目標】

本プロジェクトは、八王子駅前にある八王子市地域包括支援センター旭町、八王子市第4地区民生委員と学生が連携して「駅前という特徴を活かした高齢者のためのサロン」を立ち上げ運営を試みるものである。駅前商業地域で独居する高齢者は多く、近年は駅周辺再開発により高層マンションが新築され高齢の新入居者も増えている。このような現状を踏まえた上で、公的な交流の場の仕組みづくりを行っていくことが目的である。

第1の目標は、高齢者の方が自然体でゆったりと過ごすことができ、多世代で交流し合える「みんなのゆったりサロン」の仕組みづくり、第2の目標は、高齢者の活動の活性化を推進し健康長寿の一助を担うこと、第3の目標は、地域団体と連携して継続性のある事業を目指し駅前ならではの新たなサロンの仕組みを行うことである。

### 【事業内容】

2016年度事業内容は「新規サロンの運営」と「八王子エリア調査」である。

#### 事業1：「世代間交流旭町駅前サロン」の運営

〔場所〕八王子市地域包括支援センター旭町

〔開催日時〕毎月第3木曜日 14:00~15:30(90分)

※8月・2月を除く。

〔参加高齢者の対象エリア〕八王子市第4地区

〔連携団体〕八王子市地域包括支援センター旭町、第4地区民生委員の方々

活動は八王子市第4地区民生委員の方々と梅澤ゼミPJメンバーで役割を分担して行っている。

民生委員の皆さんは、担当地区の高齢者にサロン参加の呼びかけや当日の茶菓の準備・提供などおてなしを中心に担当して下さっている。

〔学生の役割と活動内容〕

学生の役割は主に2つに分けられる。1つはサロンの企画立案・運営、サロンを通じての世代間交流である。その他には地域高齢者の生活実態やニーズの調査とそれに基づくサロンの改善案を提案していくことである。

〔駅前サロンの運営方法〕

地域包括支援センター旭町職員、民生委員の皆さんと相談しながら学生の自己紹介、開催時期にあった話題を選びクイズなどをPPTで作成し話題づくりを行う。自己紹介では学生自身の趣味や旅行先の紹介、1964年に開催された東京オリンピックと2020年に開催されるオリンピックとの比較や八王子市の特徴など、高齢者にとって懐かしい話題、私たちと共通の話題を用意し楽しんでいただくよう工夫を行った。

第3回からは、集客に向けたチラシを配布した。チラシには次回の開催日時だけでなく、高齢者の方が少しでも外に出ただけのきっかけ作りとして、近々行われる八王子駅周辺の行事を紹介するなど工夫した。チラシは玄関や冷蔵庫などに貼ってもらいやすいA5サイズとした。サロン終了後には関係者ミーティングを行い次回に向けての修正点やアイデアを出し合う。それを持ち帰ってPJメンバー内で検討し、次回のサロンに繋げていく。このようにサロンはPDCAにより改善している。

#### 事業2：フィールドワーク、その他の活動

(1) 参考となる事例の調査

サロン運営にあたって、参考事例として八王子市館ヶ丘団地、シルバーふらっと館ヶ丘を視察した。館長のお話からサロンのあり方、人を想う気持ちなど多くのことを学んだ。館長の人柄の温かさや人望の厚さを間近で見ることで、改めて人を笑顔にすることの素晴らしさを感じることができた。

(2) 民生委員の方々へのインタビュー

我々と一緒に活動をして下さっている民生委員の方々へのインタビューを行った。町にはそれぞれ特徴があり、民生委員の方々はその地域の特徴に応じて異なる活動を行っており、工夫をされていることが分かった。駅前サロンを運営す

るにあたり、八王子の地域別の特徴を理解することはとても重要だと感じている。

(3) 八王子市福祉部高齢者福祉課インタビュー

自治体側からみた八王子におけるサロンの特徴、運営方法や課題について市の担当職員の方からお話を伺った。八王子市は、駅周辺、戦後まもなく開発された大規模団地エリア、多摩ニュータウン開発による比較的新しい団地エリア、昔からの農林業エリアと地域性が異なるエリアがあり、地域にあった異なる高齢者福祉サービスが必要であることがわかった。



### 【実施報告】

世代間交流旭町駅前サロンは、4月からの準備期間(打合せ等)を経て6月からサロンを開始し、2017年1月までに計7回(8月は休み)実施した。開催日は、2016年6/20・7/21・9/15・10/20・11/17・12/15・2017年1/19である。第8回サロンは3/16に開催を予定している。

(助成対象期間7月~12月中は5回実施した。)

6月16日に開催した第1回駅前サロンは民生委員の方々のお声かけもあり、約30名もの高齢者の方が参加された。「若い人と話すのは楽しい。」「今度はお友達も連れてきていい?」など励みになるお言葉をいただくことができた。しかし、会場の規模から30名という数ではご参加いただいた高齢者の方々に満足いく内容が提供できないことがわかった。その後は10~15名前後で活動を行なっている。

〔課題と解決策〕

運営する上で幾つかの課題がみえてきた。第1に隣あう参加者同士で話が盛り上がりすぎてしまうことだ。出来るだけ参加者全員で楽しめる話題を提供していきたいと感じている。そのため、最初は全員で話せる話題を提供し、その後、テーブル毎にお話しの時間を設けることにした。第2に普段接点がない高齢者の方々と話す時に、我々がどうしても身構えてしまうということである。また、一度着席すると動けなくなってしまうこともあった。この課題は会を重ねるに従って私たちの力も抜け、時間を決めてメンバーがテーブルをローテーションするように徹底した。第3に自分の趣味などの話題を提供しても理解されないこともあり、世代間のギャップを埋めることが難しかった。双方向コミュニケーションを目指したい。やはり課題は、私たちのコミュニケーション能力に係るものである。

### 【連携先の方々からの評価】

八王子市地域包括支援センターの皆様さまより私たちの活動に対して以下のようなお言葉を頂戴している。

「年齢が違う学生たちとの交流で、高齢者の方々も楽しそうに話されていたのでとても良かった。八王子市内在住の学生はいなかったが、学生たちの地元の話題に広がりを持った点がよかった。回を重ねる毎に駅前サロンが良いものとなってきている。開会時の盛り上がり少し欠けるので、工夫するとより良いものになると思う。」

### 【事業を実施した感想】

初めてのサロン運営だったので、従来からのサロンとの比較が難しいが、連携して下さっている民生委員の方からは「なかなか思いつかないアイデアが出てきて面白い。」「活気がある。」「元気がでる。」といったお声をいただきホッとしている。サロンの内容や民生委員の皆さまとの役割分担が安定してきたところである。

### 謝辞

今年度お世話になりました八王子市地域包括支援センター旭町職員、八王子市第4地区民生委員、八王子市福祉部高齢者福祉課地域包括担当職員の皆様に心より感謝を申し上げます。そしてこれまで多摩市を中心に活動していたゼミの地域プロジェクトを八王子市に広げていく新たな機会を与えて下さった大学コンソーシアム八王子の皆様ありがとうございました。

